

CHOCがいかにして鍵の入退室管理を自動化し、年間6,000時間を削減しているか



オレンジ・カウンティ小児病院 (CHOC)

カリフォルニア州オレンジ・カウンティの
小児医療システム

身体的・精神的に重篤な小児疾患や外傷に対し、
卓越した臨床プログラムを数多く提供

CHOCの運営チームは、施設用鍵の管理において課題を抱えていました。鍵は特定のスタッフが管理責任者となって手作業で貸し出しており、スタッフや請負業者は鍵を受け取るために待機を余儀なくされることが多く、業務の遅延やコストの無駄が生じていました。こうした手作業による鍵の管理は、人為的ミスや鍵の紛失、煩雑な手続きを招き、スタッフが鍵を入手するために貴重な時間を費やす原因となっていました。

病院内の施設管理、警備、薬剤、精神科など複数の部門において、鍵の管理に関する課題が生じていました。記録が紙の台帳で管理されていたため、リアルタイムでの状況把握が困難であり、重大なセキュリティ上の懸念となっていました。鍵が紛失した場合、最後に使用した人物を特定するのは容易ではありませんでした。さらに、高度なセキュリティが求められる鍵を紛失すると、多くの場合、高額な費用をかけて錠前を交換する必要がありました。

同病院は、セキュリティと業務効率を向上させるための解決策が必要であると認識し、Torus（トーラス）の導入を決定しました。鍵管理を自動化するために6台のキャビネットが設置され、現在では鍵の監視、制御、および利用が容易に行えるようになっています。これにより、鍵の紛失、破損、あるいは置き忘れといった事態にも、管理側が迅速に対応できるようになりました。鍵が返却されない場合には、リアルタイムでSMSやメールによる通知が送信され、速やかな返却が促されます。鍵の適切な管理体制が整ったことで、CHOCは年間を通じて大幅な時間の節約を実現しています。

課 題	ソリューション	節約効果
数百の鍵の管理	US\$130Kの初期投資 + US\$6K/ 年間費用	6000h / 年間
非効率な鍵管理システム 人的ミス 度重なる鍵の紛失 安全・セキュリティ上のリスク 時間とリソースの浪費 鍵の敷地外への持ち出し	Torus -15キャビネット 6台を設置 鍵組み換えのリスクを排除 24時間、鍵への自動アクセスを実現 SMSとメールによるリアルタイム アラート機能により、管理業務の 負担を軽減	ROI = 3 ヶ月 鍵や錠の交換費用US\$15K削減 従業員及び請負業者全体でUS\$30K/ 年間相当の業務効率改善を実現 鍵を探したり、待ったりする待機 時間を削減

病院の円滑な運営には、セキュリティと説明責任の確保が不可欠です。
TORUSの導入により、当院の鍵管理体制は劇的に改善されました。
鍵が院外に持ち出される心配がないという安心感があるため、
スタッフは患者様への質の高いサービスの提供に専念できています。

CHOC施設運営責任者

confidential